

1. 国土交通省における政策評価

【基本的な3つの方式】

(1) 政策チェックアップ(事後評価)

～国交省の所管業務に関する施策目標・業績指標の実績を、事後評価。2年毎にとりまとめ。

* 施策目標(44): 政策を実現するための具体的な施策に関する目標。

例. 26鉄道網を充実・活性化させる

* 業績指標(項目数:166、指標数:220(再掲含む)): 施策目標の達成度合いを表し、具体的な数値により設定。

例. 130東京圏鉄道における混雑率

※社会資本整備重点計画に定められた事業は、国土交通省政策評価基本計画等に基づき、政策チェックアップの手法により、業績指標を用いて政策評価を実施することとされている。

(2) 政策レビュー(特定テーマの事後評価(総合評価))

～大括りのテーマを毎年数テーマ選んで、掘り下げて検証・分析し、課題とその改善方策等を発見。

*平成27年度テーマは、道路交通の安全施策、住生活基本計画、国際コンテナ戦略港湾政策、国際協力・連携等の推進。

(3) 政策アセスメント(翌年度概算要求の事前評価)

～毎年の概算要求時等において、新規の社会的な影響の大きい施策要求を、事前評価。

*平成28年度要求に際しては、予算概算要求に盛り込まれた施策のうち、24件の施策について実施。

【政策の特性に応じた方式】

(4) 個別公共事業評価 ～所管個別公共事業について、新規採択時評価、再評価及び完了後の事後評価を実施。

*平成26年度は新規採択時評価174件、再評価441件、事後評価72件について実施。

*別途計画段階評価を実施。

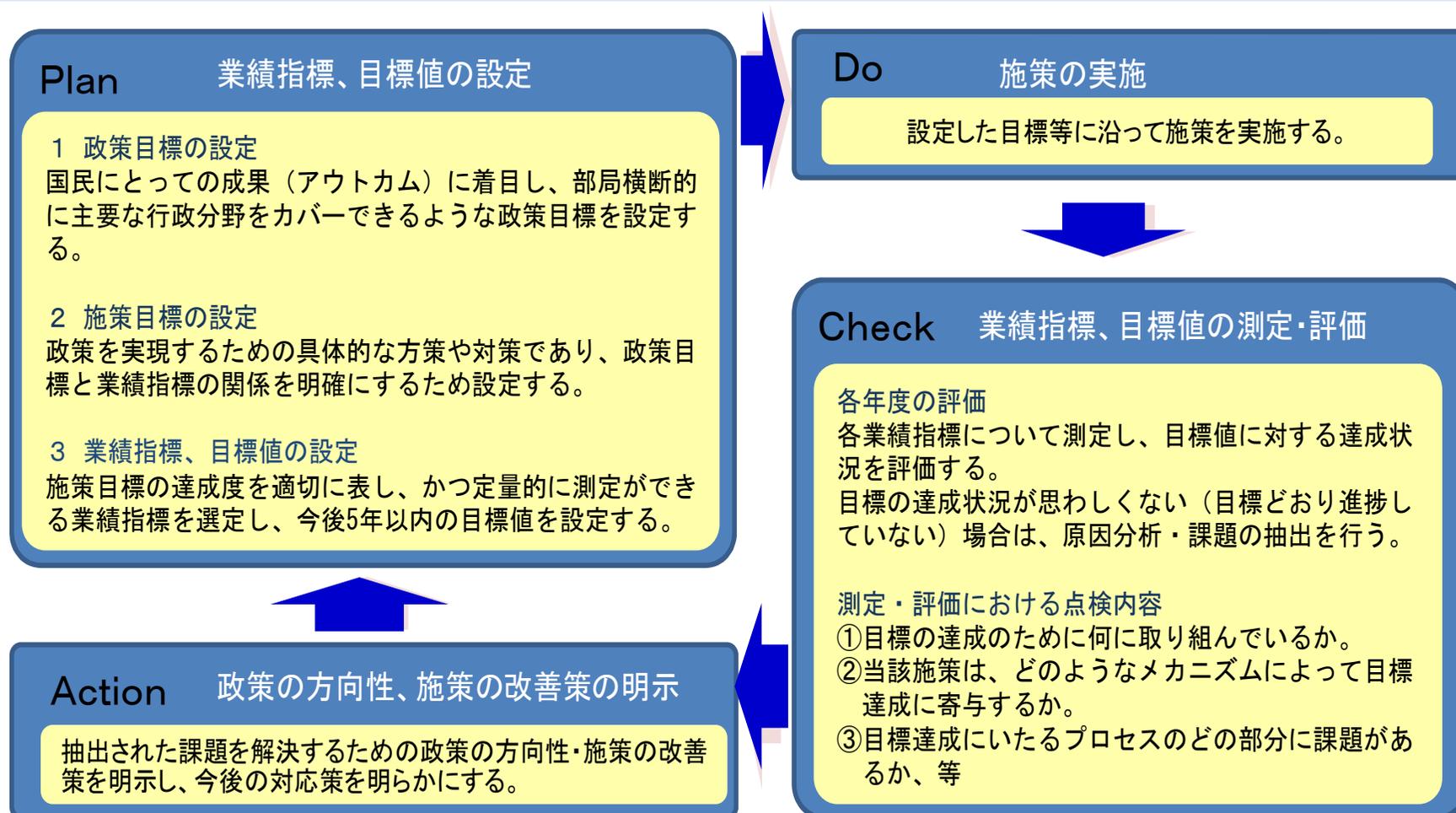
(5) 個別研究開発課題評価 ～研究機関等で実施する研究開発課題、研究開発プログラムについて、事前評価、中間評価、終了時評価。

(6) 規制の事前評価(RIA) ～法律または政令により規制の新設又は改廃を行う時に、事前評価。

(7) 租税特別措置等に係る政策評価 ～租税特別措置等(法人税、法人住民税、法人事業税)の新設、拡充、延長要望時に事前評価等を実施。

2. 政策チェックアップ

国土交通省の中心的な評価手法で、施策目標ごとに業績指標とその目標値を設定し、定期的に業績を測定して目標の達成度を評価する手法



3. 平成26年度政策チェックアップの概要① (平成27年8月27日公表) 国土交通省

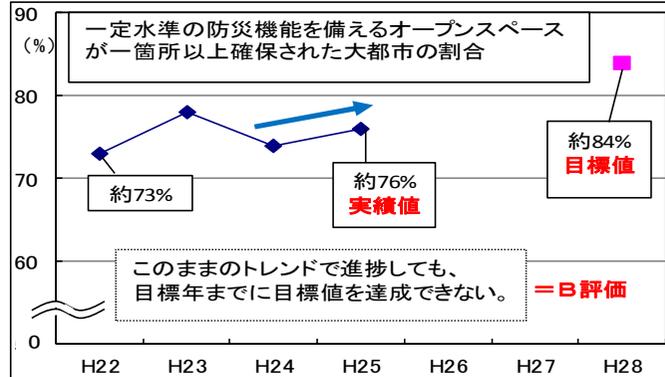
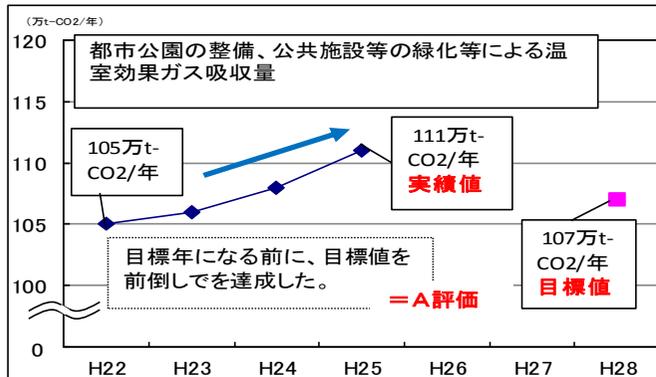
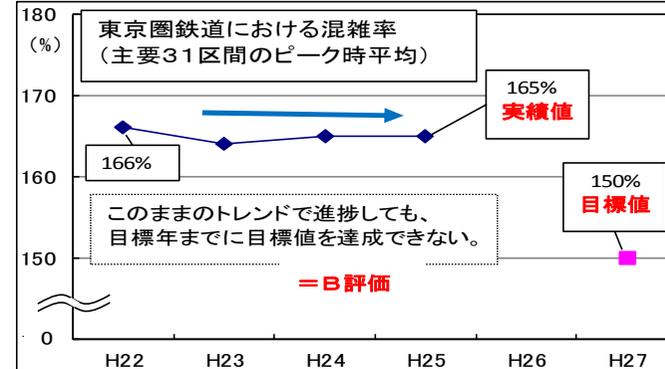
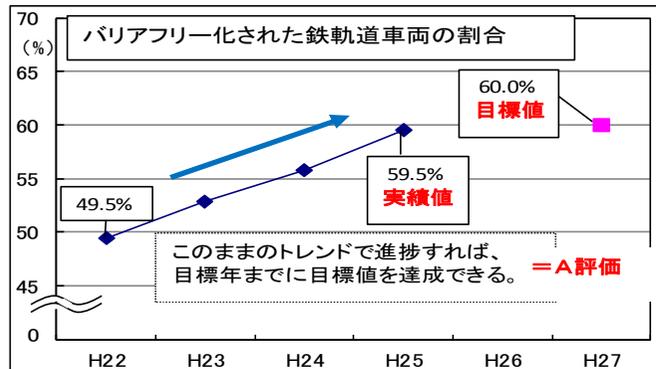
○施策目標(44個)及び業績指標(項目数:166個、指標数:220個(再掲含む))を設定

※各施策目標のもとに複数の業績指標を設定

1. 業績指標(施策目標の達成度合いを表し、具体的な数値で設定)

※目標達成が見込まれるものをA評価とし、目標達成が見込まれないものをB評価としている。

(例)



○業績指標の評価結果

	26年度	24年度	23年度	22年度	21年度
A評価	132件 (60.0%)	162件 (69.2%)	156件 (60.5%)	164件 (59.6%)	199件 (69.3%)
B評価	84件 (38.2%)	58件 (24.8%)	96件 (37.2%)	106件 (38.5%)	75件 (26.1%)
N評価	4件 (1.8%)	14件 (6.0%)	6件 (2.3%)	5件 (1.8%)	13件 (4.5%)

A評価(実績値が目標達成に向けた成果を示している)
 B評価(実績値が目標達成に向けた成果を示していない)
 N評価(実績値が得られず判断できない)

3. 平成26年度政策チェックアップの概要② (平成27年8月27日公表)

2. 施策目標(政策を実現するための具体的な施策に関する目標)

※達成状況を①～⑤の5段階で評価 (平成26年度から全省庁共通の評価基準)

○施策目標の評価結果と評価基準 (平成26年度)

評価区分	26年度	施策目標の評価の目安
①目標超過達成	4件(9.1%)	・全ての業績指標で目標値を達成 ・主要な業績指標が目標を大幅に上回る
②目標達成	11件(25.0%)	・全ての業績指標で目標値を達成 ・主要な業績指標が目標を大幅に上回っていない
③相当程度進展あり	14件(31.8%)	・目標値を達成していない業績指標あり ・主要な業績指標はおおむね目標に近い実績 ・相当な期間を要せずに目標達成が可能
④進展が大きくない	15件(34.1%)	・目標値を達成していない業績指標あり ・主要な業績指標が目標に近い実績を示さなかった ・目標達成には相当な期間を要する
⑤目標に向かっていない	0件(0%)	・目標値を達成していない業績指標あり ・施策としても目標達成に向けて進展していない ・現行の取組を継続しても目標を達成する見込みがない

【①目標超過達成の例】 施策24 航空交通ネットワークを強化する

- ・ 主要指標114 (達成率167%) 大都市圏拠点空港の空港容量の増加<社重点指標>
- ・ 指標115 (達成率150%) 航空機騒音に係る環境基準の屋内達成率
- ・ 指標116 (達成率157%) 航空輸送上重要な空港のうち、地震時に救急・救命、緊急物資輸送拠点としての機能を有する空港から一定範囲に居住する人口の割合<社重点指標>

(参考) 前回までの評価結果と基準

	24年度	23年度	22年度
①順調である	26件(59.1%)	12件(27.3%)	14件(29.8%)
②おおむね順調である	13件(29.5%)	23件(52.3%)	19件(40.4%)
③努力が必要である	5件(11.4%)	9件(20.5%)	14件(29.8%)

- ①順調である (A評価の割合が80%以上)
- ②おおむね順調である (A評価の割合が50%以上80%未満)
- ③努力が必要である (A評価の割合が50%未満)